

「金銭面で安心してできることも重要」だという気づき
従業員が安心して働ける環境のために



本社管理本部ダイバーシティ推進部
部長

黒嶋 敦子 氏
Atsuko Kuroshima

CASE 01

従業員のウェルビーイングの実現に力を入れる熊谷組は、福利厚生において金銭面の不安を取り除くことが従業員に安心感を与え、生産性向上や継続就労につながるの視点から、従業員のファイナンシャル・ウェルビーイング向上を支援するサービス「資産形成ラウンジ エフクリ」の試行に臨んだ。

環境を整備することで
従業員の意識を変えていく

ダム・トンネルなどの大型土木工事や超高層ビルに代表される建築工事を数多く施工、またインドネシア、ベトナムなど海外にも拠点を置き、世界各地で建設プロジェクトを手掛けている建設会社の熊谷組。

2016年にダイバーシティ推進室が設置された同社では、女性の活躍促進に向けた取り組みだけでなく、男性の育児休業取得のさまざまな経験談を共有する座談会や、介護と仕事の両立をサポートする説明会など、従業員の働きやすい環境整備・風土改革にも力を入れており、女性活躍推進に優れた上場企業が選ばれる「なでしこ銘柄」、女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主を意味する「えるぼし」認定3段階、ダイバーシティの推進を経営成果に結びつけている企業が表彰される「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれるなど、ダイバーシティ分野での活躍も目覚ましい。こうしたダイバーシティを推進してきたのが黒嶋氏だ。

「私は設計職で入社し、12年ほど現場で施工管理の仕事をしていたのですが、子どもができたのをきっかけに内勤になりました。そして2015年に女性活躍推進法が施行されるにあたり、熊谷組でも女性が活躍できる行動計画を策定するためにワーキンググループを立ち上げ、私がプロジェクトリーダーを務めることになりました。そこから建築購買業務と兼務しながら、新たにダイバーシティを推進する立場になったわけですが、現場にいた経験もあり、建設現場の環境をハード面からまず改善していく必要があると考えていました。最初の第1歩は、建設現場に「女性が安心して使える洋式トイレ」を設置することでした。これまで建設現場には女性がほとんどいなかった為、女性用トイレもほとんどなく、私も小規模現場では夏でも水を飲まないで過ごすこともありました。『それが当たり前』という、今までの環境や意識をまずは改善したいと考えたのです。最初は作業所長宛に設置のお願い文書を送るところからのスタートでしたが、環境が整ってくると作業所も協力してくれ、男女別の設備が整ってくるようになりました。

また、全支店にいるダイバーシティ推進担当者が中心となり、各作業所の環境を確認する『ダイバーシティパトロール』を実施し、好事例を社内のイントラネットで継続的に紹介しました。その結果、熊谷組の作業所には女性技能者が増え、作業所でも『男女ともに働く場所』という意識に変化していきました。長くその場所で働いている人ほど、気づかないこともたくさんあります。『今まで常識だと思っていたことを一度見直す』ということがやはり必要ですね」

プロにも相談できる、
エフクリだからこその安心感

エフクリに興味を持ったきっかけも「ダイバーシティ」にあるが、そこでも新たな気づきがあったという。

「私はダイバーシティという視点で職場の環境整備に取り組んできたのですが、そこに資産形成という視点が入るという意識は、実はこれまでありませんでした。資産形成はすごく重要な課題だという認識はあったのですが、どちらかというと『個人が自分自身で形成するもの』という意識が強かったんです。でもエフクリについてご紹介いただいたときに、Well-beingには色々な視点があって『福利厚生における金銭面に対して安心できる』ということも、社員が安心して働ける環境の実現のために大事な要素ではないかと思ったんです。加えて、『SCSKさんだから』というのもありました。SCSKさんは新・ダイバーシティ経営企業100選「100選プライム」に選定されるなどダイバーシティの推進を経営成果に結びつけている会社であり、私自身もダイバーシティを推進する立場として、そういった企業が開発したエフクリならば、ダイバーシティの視点も備えたものだろうという信頼感があったんです」

実際にエフクリを試行してみて、黒嶋氏は「学びが多かった」と振り返る。

「資産や貯蓄に関して多分こういうふうになるだろうなと漠然としたイメージは私も持っていましたが、エフクリで具体的に『見える化』できたことはよかったですね。私は、息子2人の学費や、貯蓄、老後に備えた年金や保険などを総合的にシミュレーションしてみました。そのシミュレーションを実施するに当たり、具体的にいつお金が下りてくるのか、いつ子どもにお金がかかるのかなど一度自分で整理する必要があって、いろんな先のことを考える時間が持てました。さらにエフクリはファイナンシャルプランナーに無料で相談できたので、自分自身でシミュレーションしたうえで、たとえば物価上昇率や不動産が10年後、20年後にどういった価格想定になっているかなど、社会・経済の今後の予測に応じた形で自分ひとりでは見えてこなかったものを『見える化』できたところがありがたかったですね。今後の人生をシミュレーションするにあたってプロの意見が聞けるという安心感は大きいと思います」

従業員が能力を
最大限に発揮できるように

黒嶋氏は「資産形成についても社内でも相談できる環境があったほうが、福利厚生における金銭面に対する不安を取り除くことができ、

「エフクリ」は
今後の人生に必要なお金を「見える化」でき、
ファイナンシャルプランナーの意見を
聞くことができるのもありがたい

Message!

従業員にとって安心して働き続けられる環境へと近づくのでは」との考えを深めた様子。

「今回、熊谷組では10名の社員が試行しましたが、試行前後でアンケート結果を比較したところ、明らかに意識の変化がうかがえました。例えば、『預金以外での資産運用・形成を始めたいか』という質問に対して『始めることを検討している』『既に始めている』と回答した社員が増えていました。

多様な人材がその能力を最大限に発揮でき、更にそれぞれがWell-beingを実現できる社会の創出を今後は目指していきたいと考えていますが、建設業ではまだまだワークライフバランスの実現ができておらず、まずはそこを解決したいです。熊谷組の課題は、人的資本経営における人材確保と投資、そして技術者育成のための継続就労です。建設業は、技術の継承に5年、10年というスパンを要する為、社員に継続的に働いてもらう必要があり、安心して働く環境を整備しなければいけません。そのためにはまずワークライフバランスを実現することですが、今後はファイナンシャルのWell-beingも重要だと考えています」

一方で黒嶋氏は、エフクリについて「資産形成だけでなく、総合的なWell-beingのための場になってほしい」と期待を込める。

「今後ますます多様化が進む中で、結婚や出産、留学、子育てがあったり、あるいは自宅を購入したり、親の介護だったり、突然の病気や怪我だってあります。そうした多様なライフイベントに応じて、望む仕事と両立の仕方をサポートできる『エフクリ』に進化して、シミュレーションしたり、プロフェッショナルに相談できたりといった、従業員にとっての『ウェルビーイング実現ラウンジ』になってほしいですね」



「USER PROFILE」

高める、つくる、そして、支える。



株式会社熊谷組

所在地：〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2-1
創業：1898年(明治31年)
資本金：301億円(2023年3月31日現在)
従業員：2,635名(2023年3月31日現在)
事業内容：建設請負事業、建設周辺事業
URL：https://www.kumagaigumi.co.jp

ファイナンシャル・ウェルビーイング人的資本経営の実現へ



「資産形成ラウンジ エフクリ」は、人生100年時代を豊かにするため、
従業員のファイナンシャル・ウェルビーイング向上を支援するサービスとして誕生しました。

個別機能をパッケージ化して提供することでファイナンシャル・ウェルビーイングの全要素を全従業員に包括的に提供、従業員の方のファイナンシャル・ウェルビーイングを向上させ、人的資本経営実現の最短経路をご案内します。

「資産形成ラウンジ エフクリ」の特長

資産形成支援の機能を組み込んだ「ウェルビーイングプラットフォーム」

<p>収支管理 シミュレーション機能</p> <p>潜在的な金融課題を可視化</p>	<p>金融リテラシー 金融情報提供</p> <p>ナレッジやスキル、ノウハウを提供</p>	<p>ライフプランニング FP紹介/相談</p> <p>プロのコンサルティングを無償で提供</p>
---	--	--

最短ルートで、人的資本経営やファイナンシャル・ウェルビーイングの向上をご支援いたします。

主要ご提供サービス

<p>ライフプランシミュレーション</p> <p>各企業の給与モデルや退職金制度を反映し、ライフプランに合わせてその人に合ったレコメンドを提供します。</p>	<p>金融情報</p> <p>テキストや動画によるコンテンツ、無料セミナーから、興味のあるテーマや知りたい情報をキャッチし、金融リテラシーを向上させることができます。</p> <p>記事 セミナー</p>	<p>FP相談</p> <p>浮き彫りになった課題やお金の悩み・解決方法について、プロのFPに無料相談できます。</p> <p>生命保険 住宅ローン 資産運用 家計の見直し 損害保険</p> <p>FP (ファイナンシャルプランナー)</p>
--	---	--